（添付資料1）

***（注）添付資料1は外部有識者による事前審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。ただし、外部有識者に提出したくない内容は、本紙には概要のみを記入し、詳細は添付資料４に記載してください。（この場合、本紙に記入する概要が簡略すぎると、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなる恐れがあるので注意してください。）***

助成事業実施計画書

**１．実施計画の細目**

(1)事業目的、目標及び事業による効果

①事業目的

***マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。***

②事業目標

***技術開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。***

***さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と技術開発テーマとの関係ならびに技術開発テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。***

***共同提案の場合、それぞれの理由等を明示してください。***

　　③事業による効果

***一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。***

(２)事業概要

　　　***(3)事業内容の概要を簡潔に記載してください。***

(3)事業内容

***①××××の検討（担当：□□□株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***②××××の試験（担当：△△△株式会社）***

委託の１aの内容（評価表とリンクした）とする。

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***③××××の設計（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***④××××の製作（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑤××××の開発（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑥××××の評価（担当：国立研究開発法人▽▽▽）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑦××××の海外調査（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑧××××委員会の開催（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***(1)②の事業目標を達成するために必要な技術開発の内容を説明してください。技術開発で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。実行計画は課題のボリューム、スケジュール、実施能力、実施体制等に照らして適正であるものにしてください。***

***共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。各者の提案の分担関係が明確であり、相互補完的となっていることが必要です。***

***また、提案する技術開発内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。***

***併せて開発テーマによって以下の点にも留意して実施計画書を作成してください。***

***▼開発テーマ（ⅰ）「安全性・信頼性確保技術開発」を選択した場合***

***・（1）項の①事業目的、②目標及び③事業による効果を記述するにあたっては、下記の点にご留意下さい。***

***＊発電事業関係者（発電事業者、設置業者、設備メーカー、維持管理事業者、保険業者、電力事業者等）の対象をそれぞれ明確にすること。***

***＊目標、効果は検証可能なものとし、検証の方法も記載すること***

***▼開発テーマ（ⅲ）「系統影響緩和に資する技術課題の検討」を選択した場合***

***・「需給予測の高度化等による経済性に優れた需給一体型システムを構築する」うえで、技術的課題を具体的に想定し、「基本設計」を行うためのプロセスを明示してください。***

***・「基本設計」策定においてはその中に経済合理性を含めた有効性の評価が必須です。その評価手法をどのように選択していくのか、その選択プロセスについても本実施計画書内に明示してください。***

***・上記「基本設計」に基づいた「実証プラン」については、具体的な作業項目とスケジュールを明示したものとして策定すべきものです。その点を十分考慮した実施計画書としてください。***

**２．実施計画**

***上記「１.(3)事業内容」であげた***

***各技術開発項目の実施計画***

***を記載してください。***

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業項目 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
| ***①×××の検討******②×××の試験******③×××の設計******④×××の製作******⑤×××の開発******⑥×××の評価******⑦×××の海外調査******⑧××委員会の開催*** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**３．研究開発体制等**

　(1)研究開発体制図

【委託先】

○○○株式会社

（○○○○を委託）

（○○○○を委託）

（○○○を共同研究）

△△△株式会社

国立大学法人□□□大学

国立研究開発法人▽▽▽

【助成先】

【共同研究先】

(2)助成先における研究体制（別紙１）

(3)委託先及び共同研究先における研究体制（別紙１）

(4)委員会等における外部からの指導又は協力者（別紙１）

**４．助成事業に要する費用の内訳等**

　(1)全期間総括表（別紙２）

　(2)助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）

　(3)委託先、共同研究先総括表（別紙２）

　(4)項目別明細表（別紙２）